



アイゼット照明器具

笠付 86W 1 灯用高出力型蛍光灯器具

取扱説明書

保管用

灯 具 品 番	器 具 重 量	電 源	適 合 ラ ン プ (指定)
R F H - P Z 8 6 1 0 1 H P	3. 3 kg	1 0 0 ~ 2 4 2 V	F H F 8 6 - H P V

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施 工 説 明 . . . 工事店様へ、この説明書は保守の為お客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・発火の原因となります。
- 器具を改造しないでください。感電・火災の原因となります
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数以外の電源で使用しないでください。感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

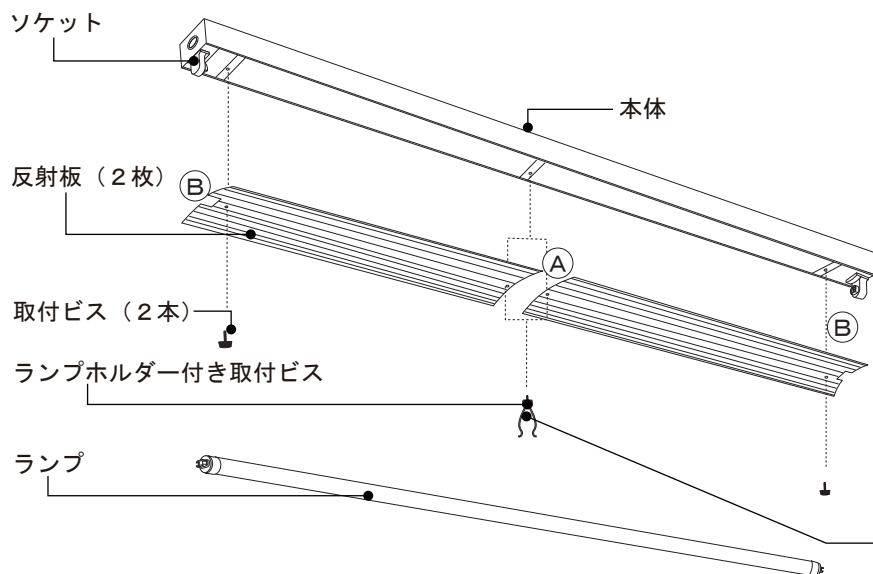
- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・腐食性ガスの発生する場所・風などが直接あたる場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 周囲温度は5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

⚠ 施工上のご注意

施工は取扱説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

- 予め既設本体の外形寸法、ボルトピッチ、電源穴位置、電源線の長さ等をご確認ください。

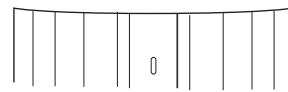
各部のなまえ



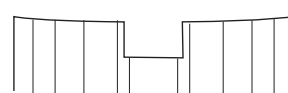
※ランプホルダー付きの取付ビス
で中央部を固定してください

反射板の方向

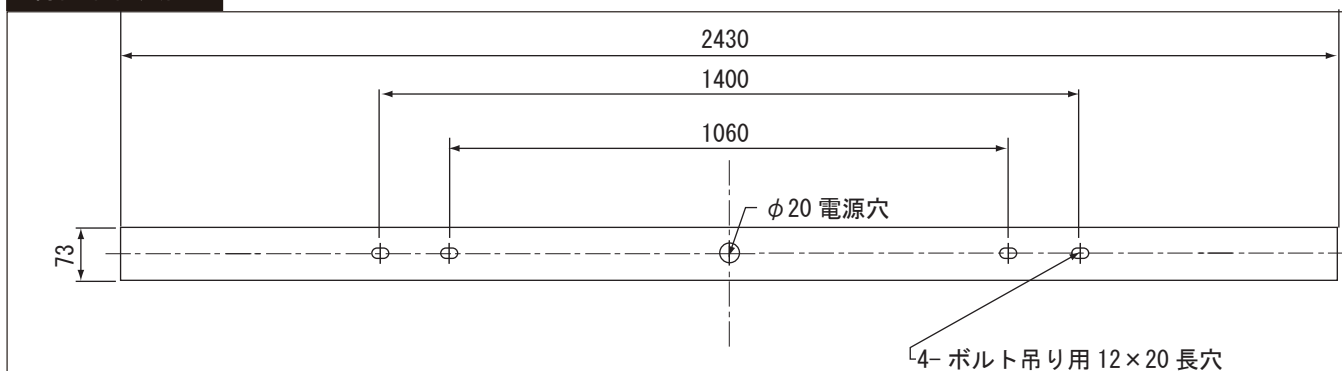
Ⓐ ランプホルダー側（切欠け部ない）



Ⓑ ソケット側（切欠け部がある）

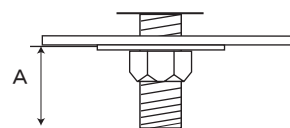


背面取付穴図



1. 器具の取付け準備

- ・器具重量に十分耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。
- ・取付ボルトはW3/8またはM10を使用する。
- ※ **取付けに不備があると器具落下の原因となります。**
- ・取付ボルトの器具内寸法（A）は35mmを越えないようにしてください。
- ※ **取付ボルトが出すぎると、反射板が取り付けられなくなります。**



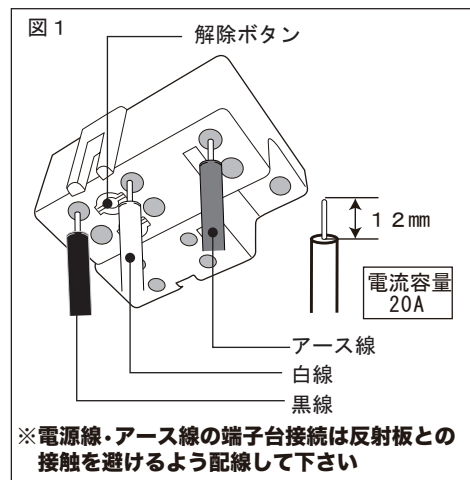
2. 本体を取付ける

- ・本体の電源穴から電源線・アース線を引き込む。
- ・器具本体を取付ボルトで天井に確実に取り付けれる。
- ※ **取付けが不完全な場合、本体落下の原因となります。**

3. 電源線を確実に接続する（図1）

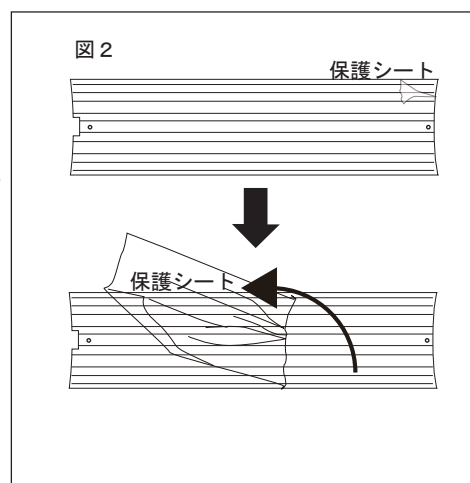
- ・電源線・アース線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかりと差込む。
- ※ **差込みが不十分ですと火災・感電の原因となります。**
- ・電源線・アース線は電源端子台に接続後、反射板に接触しないよう処理する。
- ・アースはアース線接続穴を使用しD種接地工事を行う。
- ・解除する場合は、径または幅6mm以下のドライバーでリリースボタンを押して電源線・アース線をはずす。

※ **接続が不完全な場合、火災の原因となります。**



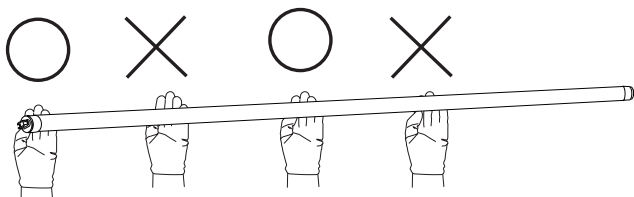
4. 反射板を取付ける

- ・本体の開口部に反射板を確実ににはめ込んでから、取付ビス（2ヶ）ランプホルダー付き取付ビス（1ヶ）で反射板中央を確実に固定してください。
- ※ **必ず反射板保護シートをはがしてから取付けてください。（図2）**
- ※ **取付けが不十分ですと落下の原因となります。**
- ・反射板には方向があります。
- ※ **方向を誤って取付た場合、器具破損の原因となります。**

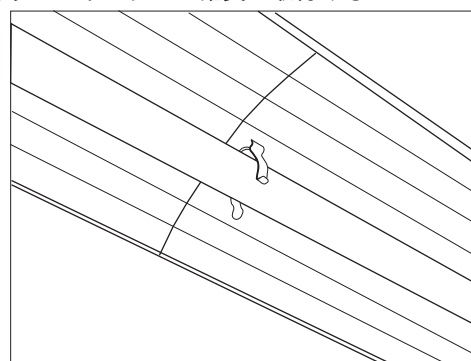


5. 蛍光ランプを取付ける。

① 蛍光ランプの中央部を持つ

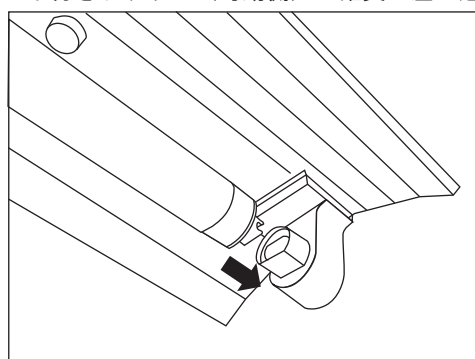


③ ランプホルダーに確実に取付ける

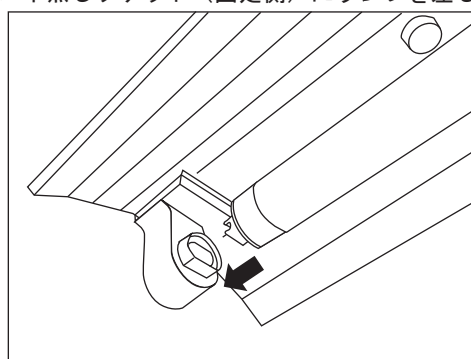


※ **衝撃を与えるような取付けやランプホルダーで強く蛍光ランプをはじかないでください。破損の原因となります。**

② バネ付きソケット（可動側）に確実に差し込む



④ バネ無しソケット（固定側）にランプを差し込む



ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

取 扱 説 明 ・ ・ ・ お客様へ、この説明書は保守の為お客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の想定される内容を示します。

- ランプのお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
 - 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
 - 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - 1年に1回は、社団法人日本器具工業会作成の『安全チェックシート』に基づき自主点検してください。
3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- ※点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

⚠ 使用上のご注意

- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビ等を使用するのはお避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。
- 低温時には明るくなるまでに時間がかかったり、一部明るさのムラが生じることがありますが、異常ではありません。

お手入れ・ランプ交換

必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。

❗ 必ず守ってください

- ランプがほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたら器具よりランプをはずし、きれいな布をせっけん水に浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。
 - 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意にしたがってください。
 - お手入れなどでランプをはずし、再度取付ける場合は、ランプを確実に取付けてください。
- ※取付けに不備がありますと、落下によるけが・物損の原因となります。

各品番、ランプ交換の際には右のマークが表示された
高周波点灯専用ランプを必ずご使用ください。

※指定以外のランプを使用すると、火災・器具の破損の原因となります。

Hf/HPV

交 換 ラ ン プ (指定) FHF86-HPV

🚫 禁止

- みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。
 - 器具の丸洗い（水・洗剤）は絶対にお避けください。
- ※破損・変形・サビの原因となります。
- 点灯中や消灯直後は、ランプが高温となっていますので手を触れないでください。
- ※やけどの原因となります。

■高性能反射板のお手入れ

❗ 必ずしてください

光沢面保護のため、洗浄にはうすめの中性洗剤および水を使用し、研磨粒子の入っていないスポンジ等で軽く拭き取ってください。

高性能反射板のお手入れは、必ず電源を切ってから行ってください。
感電の原因となります。

🚫 禁止

みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。
また反射板の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。
傷つき・変形・変色・サビの原因となります。

高性能反射板のお手入れの際は、必ず手袋を着用してください。
ケガ・汚れの原因となります。

保証について

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。
- ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

商品についてのご相談お問い合わせは、器具本体表示の品番、又は型名をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは右記へご連絡ください。

本 社 / 〒399-4511

長野県上伊那郡南箕輪村 6201-1

TEL: 0265-71-8822 (代)

FAX: 0266-71-8800

■ホームページアドレス

<http://www.iz-inc.co.jp/>



取説 No. IZ0068J9-091026

 株式会社 アイゼット